



もしものときの安心補償 「対物賠償無制限」契約のおすすめ

I. 対物賠償の主流は無制限です！

平成23年4月より制度が始まった「対物賠償無制限」の契約率は**66.1%**です。

(平成30年3月31日現在)

町村生協や民間損保においては、加入車両のおよそ**90%**が「対物賠償無制限」で契約しています。

委託団体の公有自動車も、是非、安心補償のための「対物賠償無制限」契約をおすすめいたします。

II. 少額の分担金で「対物賠償無制限」契約に移行することができます！ (単位:円)

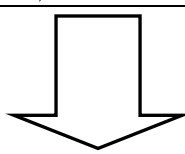
自動車の種類 責任額	自家用 貨物車	乗合 自動車	自家用 乗用車	消 防 自動車	特 殊 用途車	軽自動車	二 輪 自動車
無 制 限	13,650	18,970	14,650	3,630	18,590	5,860	970
1,000万円	12,270	17,050	13,350	3,090	16,610	4,960	850
500万円	9,970	13,850	10,700	2,840	13,310	4,460	700

III. 高額賠償判例(対物事故)

順位	損 害 額	被 害 物	裁 判 所	賠 償 額
1	2億6,135万円	積荷(呉服・洋服・毛皮)	神戸地裁	1億3,067万円
2	1億3,580万円	店舗(パチンコ店)	東京地裁	1億3,580万円
3	1億2,036万円	電車・線路・家屋(踏切事故)	福岡地裁	1億2,036万円

☆もし、「対物賠償無制限」に入っていれば…(公有自動車事例)

(事例)	乗合自動車が踏切内でJR旅客車両と衝突した事例。
↓	
JR旅客車両修理費・軌道踏切修理費・休業損害等損害額合計は1,300万円 共済金は責任額500万円 → 団体負担800万円	



高額賠償に対応できる「対物賠償無制限」契約にご加入を！